

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月31日
東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL <https://www.ds-pharma.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレート コミュニケーション担当（氏名） 樋口 敦子（TEL）03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 2022年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	432,072	9.5	58,958	△18.7	58,228	△33.5	35,183	△39.2	46,359	△34.0	22,780	154.8
2021年3月期第3四半期	394,762	10.6	72,555	12.9	87,536	7.5	57,908	31.7	70,257	59.8	8,942	△74.1

（参考） 税引前四半期利益 2022年3月期第3四半期 65,583 百万円 2021年3月期第3四半期 79,725 百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	116.69	—
2021年3月期第3四半期	176.84	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	1,295,913	665,771	600,786	46.4	1,512.20
2021年3月期	1,308,127	648,178	580,570	44.4	1,461.31

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2022年3月期	—	14.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	554,000	7.4	57,000	△18.1	55,000	△22.8	37,000	△34.2	93.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) Spirovant Sciences Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3四半期	397,900,154株	2021年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2022年3月期3四半期	607,049株	2021年3月期	606,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3四半期	397,293,379株	2021年3月期3四半期	397,294,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・連結子会社である Myovant Sciences Ltd. (以下「マイオバント社」) はニューヨーク証券取引所に上場しており、当社グループはマイオバント社の発行済株式の約53%を保有しています。本資料にはマイオバント社に関する情報が含まれていますが、これらは同社による開示済の情報に基づいています。

マイオバント社に関する詳細については、<https://www.myovant.com/> をご覧ください。

・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。

・当社は、2022年1月31日(月)に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとします。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上収益	3,948	4,321	373	9.5
コア営業利益	726	590	△136	△18.7
営業利益	875	582	△293	△33.5
税引前四半期利益	797	656	△141	△17.7
四半期利益	579	352	△227	△39.2
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	703	464	△239	△34.0

■ 売上収益は4,321億円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

精神神経領域における大塚製薬株式会社との共同開発・販売提携に伴う契約一時金を収益計上した北米セグメントに加え、中国セグメントでも伸長したことにより、全体として増収となりました。

■ コア営業利益は590億円（前年同四半期比18.7%減）となりました。

増収により売上総利益は増加しましたが、Sumitovant Biopharma Ltd.（以下「スミトバント社」）の子会社における販売活動の本格化や無形資産の償却費の増加等により、販売費及び一般管理費が大きく増加したことから、コア営業利益は減益となりました。

■ 営業利益は582億円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

前年同四半期においては当社旧茨木工場の売却に伴う固定資産売却益を計上しましたが、当四半期においてこのような要因がないことから、営業利益も減益となりました。

■ 税引前四半期利益は656億円（前年同四半期比17.7%減）となりました。

当四半期末の円安による為替差益の計上により、金融収益から金融費用を差し引いた金融損益はプラスとなりましたが、営業利益の減益の影響が大きく、税引前四半期利益も減益となりました。

■ 四半期利益は352億円（前年同四半期比39.2%減）となりました。

税引前四半期利益が減益となったことにより、四半期利益も減益となりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は464億円（前年同四半期比34.0%減）となりました。

四半期利益から、非支配持分に帰属する損失を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益も減益となり、売上収益に対する比率は10.7%となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

<日本>

■ 売上収益は1,172億円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

非定型抗精神病薬「ラツダ」は順調に売上を伸ばしていますが、薬価改定の影響や長期収載品の販売減少等により、減収となりました。

■ コアセグメント利益は170億円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

売上総利益の減少に加え、昨年9月に販売を開始した2型糖尿病治療剤「ツイミーグ」の販売関連費用などにより販売費及び一般管理費が増加し、減益となりました。

<北米>

■ 売上収益は2,507億円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

共同開発・販売提携契約による一時金の計上に加え、前連結会計年度に販売を開始した進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、当連結会計年度第1四半期に販売を開始した過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」および子宮筋腫治療剤「マイフェンブリー」の売上などの増収要因が、「ラツダ」や独占販売期間が終了した慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療剤「プロバナ」などの減収の影響を上回り、増収となりました。

■ コアセグメント利益は915億円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

増収により売上総利益は増加しましたが、スミトバント社の子会社における販売活動の本格化に伴い販売費及び一般管理費が増加したため、減益となりました。

<中国>

■ 売上収益は270億円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同四半期は縮小していたカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の販売が回復し、増収となりました。

■ コアセグメント利益は129億円（前年同四半期比52.1%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

<海外その他>

■ 売上収益は73億円（前年同四半期比36.1%減）となりました。

輸出を中心に売上が減少し、減収となりました。

■ コアセグメント利益は14億円（前年同四半期比72.9%減）となりました。

減収による影響が大きく、減益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は299億円（前年同四半期比7.8%増）、コアセグメント利益は28億円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、有価証券の評価の変動等によるその他の金融資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ197億円減少しました。

流動資産は、短期貸付金の回収によるその他の金融資産の減少がありましたが、営業債権及びその他の債権等の増加により、前連結会計年度末に比べ75億円増加しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ122億円減少し、1兆2,959億円となりました。

負債については、営業債務及びその他の債務や未払法人所得税が減少した結果、前連結会計年度末に比べ298億円減少し、6,301億円となりました。なお、社債及び借入金は合計で2,698億円となり、前連結会計年度末に比べ41億円減少しました。

親会社の所有者に帰属する持分は、その他の資本の構成要素は減少したものの、利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ202億円増加し、6,008億円となりました。また、非支配持分は、前連結会計年度末に比べ26億円減少しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ176億円増加し、6,658億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は46.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、91億円の収入となりました。税引前四半期利益の減少に加え、営業債務及びその他の債務、その他の金融負債の減少や引当金の減少等により、前年同四半期に比べ988億円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の回収や投資有価証券の売却による収入が投資の取得による支出を上回ったことなどにより、73億円の収入となりました。なお、前年同四半期は、旧茨木工場の売却に伴うキャッシュの増加要因があったため、前年同四半期に比べると283億円収入が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、204億円の支出となりました。長期借入金の返済による支出や非支配持分からの子会社持分取得による支出が増加した結果、前年同四半期に比べ20億円支出が増加しました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,963億円となり、前連結会計年度末に比べ26億円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月12日に公表した2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	578,000	64,000	61,000	41,000	103.20
今回修正予想 (B)	554,000	57,000	55,000	37,000	93.13
増減額 (B-A)	△24,000	△7,000	△6,000	△4,000	—
増減率 (%)	△4.2	△10.9	△9.8	△9.8	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	515,952	69,583	71,224	56,219	141.50

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

売上収益は、北米セグメントで「ラツォダ」の売上減少を見込むことなどから、前回発表予想から240億円減の5,540億円に修正しました。

コア営業利益および営業利益は、北米セグメントでの販売費及び一般管理費の減少などを見込むものの、売上減少に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、前回発表予想からコア営業利益は70億円減の570億円、営業利益は60億円減の550億円に修正しました。

親会社の所有者に帰属する当期利益につきましても、営業利益の減少に伴い、40億円減の370億円に修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	394,762	432,072
売上原価	104,795	117,835
売上総利益	289,967	314,237
販売費及び一般管理費	147,019	189,029
研究開発費	71,670	67,782
その他の収益	17,525	1,677
その他の費用	1,267	875
営業利益	87,536	58,228
金融収益	1,123	9,643
金融費用	8,934	2,288
税引前四半期利益	79,725	65,583
法人所得税	21,817	30,400
四半期利益	57,908	35,183
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	70,257	46,359
非支配持分	△12,349	△11,176
四半期利益	57,908	35,183
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	176.84	116.69

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	57,908	35,183
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△24,913	△27,682
確定給付負債(資産)の純額の再測定	△260	△22
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△23,814	15,348
キャッシュ・フロー・ヘッジ	21	△47
その他の包括利益合計	△48,966	△12,403
四半期包括利益合計	8,942	22,780
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	27,024	31,508
非支配持分	△18,082	△8,728
四半期包括利益合計	8,942	22,780

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	64,966	64,034
のれん	176,492	183,348
無形資産	383,406	382,963
その他の金融資産	193,035	157,279
未収法人所得税	6,726	5,204
その他の非流動資産	3,516	6,612
繰延税金資産	20,191	29,176
非流動資産合計	848,332	828,616
流動資産		
棚卸資産	92,215	94,323
営業債権及びその他の債権	135,866	155,770
その他の金融資産	29,480	11,741
未収法人所得税	194	334
その他の流動資産	8,342	8,789
現金及び現金同等物	193,698	196,340
流動資産合計	459,795	467,297
資産合計	1,308,127	1,295,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	263,859	243,963
その他の金融負債	21,404	17,238
退職給付に係る負債	15,069	15,127
その他の非流動負債	53,046	55,958
繰延税金負債	28,424	26,164
非流動負債合計	381,802	358,450
流動負債		
借入金	9,960	25,790
営業債務及びその他の債務	64,638	50,809
その他の金融負債	23,341	17,765
未払法人所得税	24,511	13,061
引当金	99,851	105,947
その他の流動負債	55,846	58,320
流動負債合計	278,147	271,692
負債合計	659,949	630,142
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,855	15,688
自己株式	△679	△680
利益剰余金	508,677	547,668
その他の資本の構成要素	34,317	15,710
親会社の所有者に帰属する持分合計	580,570	600,786
非支配持分	67,608	64,985
資本合計	648,178	665,771
負債及び資本合計	1,308,127	1,295,913

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2020年4月1日残高	22,400	17,837	△677	457,330	46,118	—
四半期利益	—	—	—	70,257	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△24,913	△260
四半期包括利益合計	—	—	—	70,257	△24,913	△260
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—
非支配持分との取引	—	△1,405	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△220	△40	260
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,405	△1	△11,344	△40	260
2020年12月31日残高	22,400	16,432	△678	516,243	21,165	—
2021年4月1日残高	22,400	15,855	△679	508,677	38,575	—
四半期利益	—	—	—	46,359	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△27,682	△22
四半期包括利益合計	—	—	—	46,359	△27,682	△22
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—
非支配持分との取引	—	△167	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	3,756	△3,778	22
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△167	△1	△7,368	△3,778	22
2021年12月31日残高	22,400	15,688	△680	547,668	7,115	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
2020年4月1日残高	△10,309	△29	35,780	532,670	103,190	635,860
四半期利益	—	—	—	70,257	△12,349	57,908
その他の包括利益	△18,081	21	△43,233	△43,233	△5,733	△48,966
四半期包括利益合計	△18,081	21	△43,233	27,024	△18,082	8,942
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
非支配持分との取引	—	—	—	△1,405	6,249	4,844
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	220	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	49	49
所有者との取引額等合計	—	—	220	△12,530	6,298	△6,232
2020年12月31日残高	△28,390	△8	△7,233	547,164	91,406	638,570

2021年4月1日残高	△4,331	73	34,317	580,570	67,608	648,178
四半期利益	—	—	—	46,359	△11,176	35,183
その他の包括利益	12,900	△47	△14,851	△14,851	2,448	△12,403
四半期包括利益合計	12,900	△47	△14,851	31,508	△8,728	22,780
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
非支配持分との取引	—	—	—	△167	6,105	5,938
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△3,756	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△3,756	△11,292	6,105	△5,187
2021年12月31日残高	8,569	26	15,710	600,786	64,985	665,771

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	57,908	35,183
減価償却費及び償却費	14,620	28,190
条件付対価公正価値の変動額	381	245
有形固定資産売却損益(△は益)	△16,753	△103
受取利息及び配当金	△1,105	△1,106
支払利息	1,704	2,236
法人所得税	21,817	30,400
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△17,257	△16,751
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,160	2,313
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△5,430	△16,921
前受収益の増減額(△は減少)	50,911	2,240
その他の金融負債の増減額(△は減少)	14,040	△8,882
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	693	21
引当金の増減額(△は減少)	14,878	2,138
その他	11,189	△11,017
小計	139,436	48,186
利息の受取額	182	118
配当金の受取額	934	985
利息の支払額	△1,120	△1,498
法人所得税の支払額	△31,552	△38,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,880	9,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,413	△5,193
有形固定資産の売却による収入	21,449	310
無形資産の取得による支出	△3,982	△5,498
投資の取得による支出	△7,009	△24,876
投資の売却及び償還による収入	3,626	15,625
短期貸付金の純増減額(△は増加)	25,724	27,678
その他	167	△787
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,562	7,259

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△245,000	29
長期借入れによる収入	125,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,220	△4,220
社債の発行による収入	118,927	—
リース負債の返済による支出	△3,559	△3,476
配当金の支払額	△11,110	△11,117
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△2,237	△3,595
その他	1,785	1,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,414	△20,395
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	125,028	△4,075
現金及び現金同等物の期首残高	101,708	193,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,902	6,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	219,834	196,340

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等であります。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

① 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	118,539	218,012	19,065	11,459	367,075	27,687	394,762
セグメント間の内部売上 収益	63	—	—	—	63	33	96
合計	118,602	218,012	19,065	11,459	367,138	27,720	394,858
セグメント利益 (コアセグメント利益)	23,023	104,536	8,497	5,317	141,373	2,866	144,239

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

② 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	117,167	250,698	27,026	7,328	402,219	29,853	432,072
セグメント間の内部売上 収益	53	—	—	—	53	30	83
合計	117,220	250,698	27,026	7,328	402,272	29,883	432,155
セグメント利益 (コアセグメント利益)	16,964	91,471	12,922	1,443	122,800	2,775	125,575

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
報告セグメント計	367,138	402,272
「その他」の区分の売上収益	27,720	29,883
セグメント間取引消去	△96	△83
要約四半期連結財務諸表の売上収益	394,762	432,072

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
報告セグメント計	141,373	122,800
「その他」の区分の利益	2,866	2,775
セグメント間取引消去	3	19
研究開発費(注)	△71,670	△67,782
事業譲渡益等	—	1,141
その他	△17	5
コア営業利益	72,555	58,958
条件付対価公正価値の変動額	△381	△245
その他の収益	17,542	531
その他の費用	△1,267	△875
その他	△913	△141
要約四半期連結財務諸表の営業利益	87,536	58,228

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される減損損失及び研究開発関連費用であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。